人文科学研究　第一二巻　一三―二六頁、二〇一六年三月

『和漢朗詠集』伊予切「第一種」と粘葉本の書に関する一考察

山本　まり子

一

『和漢朗詠集』伊予切（以下、伊予切と略称する）のもとは冊子本であったが、大正一三年（一九二四）に分断され、その際、伝来の地（伊予国〈現在の愛媛県西条市〉）に因んで伊予切と命名された。[1]

『和漢朗詠集』粘葉本（以下、粘葉本と略称する）は完本であり、粘葉装による冊子本である。

かつて、尾上柴舟氏は、伊予切と粘葉本とは「筆致がよく類似して」いるものの、「その時代も、書者も明らかにすることはできない。しかし、寛弘以後元永附近までの間の何人かの名手が、筆を揮ったものということは、いわれると思う」[2]とされた。また、春名好重氏も「同筆かと考えられるほど、字形・線・用筆・連綿などが同じようである」という見解を示された。[3]

一方、安東聖空氏は伊予切「第一種」と粘葉本とを「同手と見てよいと思う」とされ、同一人物が「同一の和漢朗詠集を相当数多く書いたものと考えてもよいのではないか」と説かれた。[4]また、飯島春敬氏も、両本は「同筆」で、「後冷泉天皇の永承年間から堀河天皇の寛治年間（一〇四六―一〇八七）に能書として君臨した藤原公経」の手になる[5]と提言され、伊予切の「書き方は、緊張している粘葉本に比して、さらに瀟洒で自由である」[6]と評された。[7]

しかしながら、両本を同筆とされるその決定的事例は見当たらず、その点について疑問を禁じ得ない。

稿者は、既に、拙稿「『和漢朗詠集』伊予切〈第一種〉の書―粘葉本との関係―」において、伊予切の書には「随所に生硬さが窺われ、老成された感がある粘葉本との間に見られた力量の差は歴然としている」と述べ、「両本は別人の手になる可能性がある」ことを指摘した。[8]

用字の問題に加え、主に、各文字を構成する画[9]・線における特徴的かと思しき線質[10]について考察を行った。しかし、文字の位置関係、行の傾き具合、構成等については紙幅の都合上、割愛せざるを得なかった。本稿では拙稿の補完を行いたく、その考察結果を示し、改めて両本の書について論じる。

本稿における「伊予切」とは、いわゆる「第一種」（1～235）を指す。[11]また、考察の対象は原則、詩歌句に限り、目録（題〈詩歌句群ごとに部類分けさ

れた各項目名）の一覧）・題・注記（各詩歌句の下方に小書きされた題詞・作者名等）、及び傍書等については対象外とした。

本稿では詩歌句を詩歌番号（『新編国歌大観』に拠る）で示す。

本調査は、『日本名跡叢刊』・『日本名筆選』に拠った。[12]

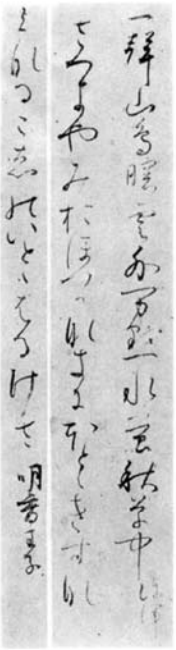
二

安東聖空氏は、次掲[1]・[2]を事例とし、伊予切について、「いかに粘葉本と近似の字体が多いかが明らかになる」と指摘された。[13]

伊予切[1]の書は流麗に映る。しかし、その反面、粘葉本に比して弱々しさが感じられる節があり、各文字の形も幅が狭く感じられる。

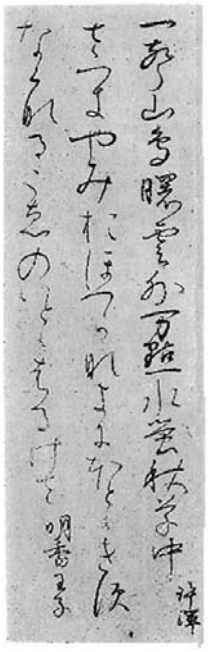
一方、粘葉本[2]の一・二・三行目の下方においては、上下に位置する文字のうち、上に位置する文字の真下ではなく、稍々右方にその下の文字が位置しており、各行も僅かながら傾斜しているかと思われる。

■伊予切



[1]

■粘葉本



[2]

それらが全般に亘って見受けられるのであれば、本課題の核心をなす要素を内包している可能性が考えられるが、その相違は目視では判別し難いほど、微妙なものとして内在する。そこで、本稿では、コンピュータを活用し、感覚的領域における差違について定量化を試みた。「文字位置計測ソフトVer1.1」（以下、ソフトと略称する）を使用し、主に、各文字の「矩形」、及び各行中、上下に位置する二文字の位置関係に注目し、その計測結果に基づき分析を試みた。

はじめに、当該ソフトの果たし得る機能について述べる。本稿中、稿者が使用する用語も定義する。

ソフトでは、各文字の「矩形」、各行の姿（文字の並び・行の揺れ等）が視覚的に表示され、かつ、一行中、上下に位置する各二文字の「中心点」（相異なる二点）間の距離・角度の計測が可能である。

ソフト上、次掲[3]のごとく、各文字の墨の跡の上下左右における最も外側の箇所（四か所）を直線で結ぶ（その四か所の位置を見定めるのは稿者の目視により行われる）ことにより当該文字は四角形で囲まれる。と同時に、そこには自動的に対角線が表れる。本稿では、その四角形のことを「矩形」と呼称し、対角線により結ばれた点を「中心点」と呼称する。

一行中、複数の文字は連なるため、たとえば、次掲[5]の三行目の行頭の一字目「池」の下には「凍」が存する。「凍」においても前述した「池」の場合と同様な作業を行う。それに伴い、[4]のごとく、中心点が結ばれる（[4]は、[5]の三行目の行頭〈一字目・二字目〉を抽出したものである）。その作業を繰り返し行うことにより、各文字の矩形、及びそれぞれの中心点の軌跡が表れる。その一部を[5]に示す。

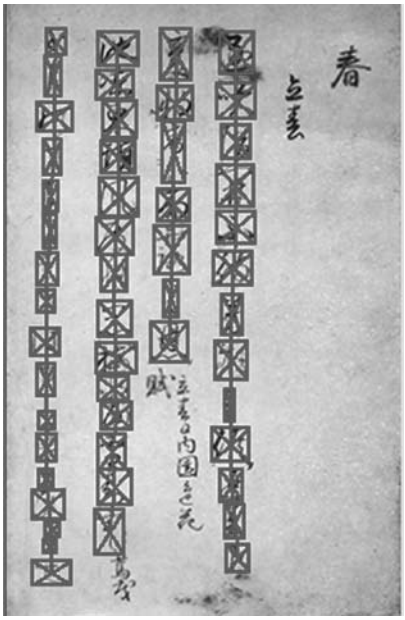
なお、[6]のごとき線分表示（矩形・対角線を無表示とし、中心点の軌跡のみを実線で示す）も可能である。

■伊予切

［3］

［4］

■伊予切



［5］

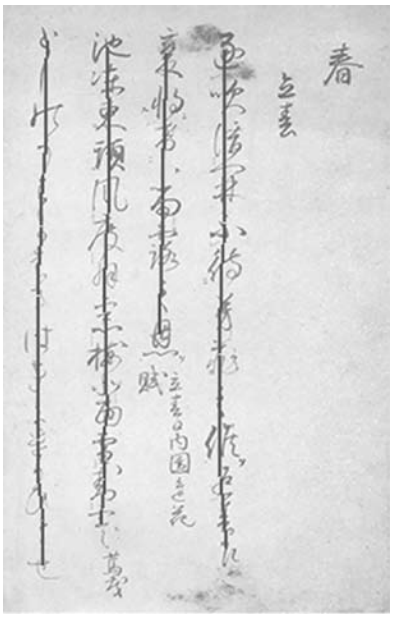
［4］・［5］によると、一字目「池」の真下に「凍」はなく、また、「凍」の中心点の位置も「池」より稍々左へずれていることが確認される。

調査方法・手順等については以下の通りである。

まず、両本の図版をデータ化し、画像サイズの調整を行った。両本の縦の寸法を揃えるためであるが以下の手順により行った。

巻頭の詩句の一行目（伊予切1と粘葉本1の一行目「逐吹潜開不待芳菲之候迎春乍」）の寸法（墨の跡〈筆跡〉が確認される最上部から最下部までの寸法）を揃えるべく、伊予切を基準とし、それに合わせて粘葉本を拡大した。さらに、それと同比率とし、粘葉本のその他の図版の全てについてもコンピュータ上で拡大した。しかし、その寸法ではソフト上、画面に一首全体が収まらない。作業の効率化のため、画像の全てを一律に縮小し、寸法は（上下の余白も含め）縦33㎜に調整した。ソフトにより出力される計測結果はそれに対する実寸のもので表示される。ただし、作業中、稿者が目視している画像の寸法との間には差がある（実際、目視している寸法はその三倍程度〈縦100㎜程〉で表示されたものである）。

上下に位置する各二文字間の距離・角度（上に位置する文字の中心点を基点とし、その下に位置する文字の中心点までの距離、及びその角度）を数値で表したものが次の【文字位置計測結果】（以下、【表】と略称する）である。紙幅の都合上、掲載の範囲は1～30に限定した。



［6］

伊予切

	16〈右〉		15〈左〉		14〈左〉	13〈左〉	12〈左〉	11〈左〉	11〈右〉	10〈右〉	9〈右〉	8〈右〉		7〈左〉		6〈左〉	5〈左〉	4〈左〉	3〈左〉	3〈右〉	2〈右〉	1〈右〉		詩歌番号／位置
	L2	L1	L2	L1				L2	L1			L2	L1	L2	L1				L2	L1		L2	L1	
A	○ 1.71	1.52	1.27	0.95	1.52	○ 2.22	○ 1.84	● 1.46	○ 2.47	1.52	1.65	1.09	1.52	○ 1.65	1.71	1.58	1.20	○ 2.03	1.39	1.34	1.46	1.90	○ 1.90	1-2
B	0.00	−4.76	−2.86	3.81	4.76	−3.27	0.00	2.49	−1.47	0.00	−2.20	■ 10.01	0.00	0.00	4.24	0.00	0.00	1.79	0.00	□ −5.44	−2.49	−1.91	0.00	
A	1.14	1.39	◆ 0.64	1.52	1.65	1.53	1.71	● 1.46	2.03	1.46	1.39	1.40	1.47	1.39	1.58	1.71	1.08	1.65	1.39	○ 1.65	1.40	1.96	1.58	2-3
B	0.00	0.00	□ 5.71	2.39	2.20	□ 7.13	2.12	0.00	1.79	2.49	0.00	□ −5.19	□ −7.43	−2.60	−2.29	0.00	3.37	4.40	0.00	2.20	□ 5.19	−1.85	0.00	
A	1.14	0.90	0.95	1.20	○ 1.85	1.47	1.59	1.65	2.03	1.34	1.33	1.65	1.52	1.08	1.27	1.77	1.46	1.68	1.34	1.58	1.46	○ 2.09	1.77	3-4
B	−3.18	□ −8.13	3.81	3.01	□ −5.91	□ −7.43	−4.57	−4.40	1.79	□ 5.44	0.00	0.00	2.39	□ −6.71	2.86	0.00	0.00	■ −10.89	□ 5.44	−2.29	−2.49	0.00	0.00	
A	◆ 0.89	1.22	1.52	1.22	1.33	1.58	1.65	○ 1.90	2.23	1.40	○ 1.77	1.46	1.02	1.08	1.21	1.58	1.58	1.42	1.46	1.59	1.58	1.77	1.65	4-5
B	4.09	□ 8.97	4.76	□ −8.97	2.73	2.29	2.20	0.00	□ 6.52	□ −5.19	2.05	0.00	□ 7.13	0.00	□ −6.01	−2.29	−2.29	■ 10.30	−4.97	−4.57	2.29	−2.05	0.00	
A	1.39	1.46	1.20	1.46	1.52	1.27	1.27	1.84	1.96	1.58	○ 1.77	1.08	● 1.01	◆ 0.95	1.34	○ 2.09	○ 1.90	1.27	1.39	1.33	1.59	1.96	1.59	5-6
B	2.60	−2.49	3.01	2.49	−2.39	2.86	0.00	1.97	−1.85	0.00	0.00	−3.37	−3.58	3.81	□ 8.13	−3.47	3.81	2.86	0.00	0.00	−4.57	−1.85	−4.57	
A	1.34	1.14	1.20	1.20	1.34	1.33	1.71	● 1.46	2.03	1.53	1.39	1.02	1.14	1.15	1.52	1.52	1.58	1.46	0.83	1.52	1.46	● 1.65	1.84	6-7
B	□ 5.44	3.18	0.00	−3.01	□ 5.44	0.00	−2.12	0.00	0.00	□ 7.13	0.00	□ 7.13	0.00	□ 6.34	0.00	2.39	0.00	−4.97	−4.40	−4.76	−2.49	0.00	−1.97	
A	1.65	1.33	1.57	1.17	1.34	● 1.20	1.39	1.52	1.77	1.52	1.52	○ 1.78	1.65	1.58	1.33	1.58	1.71	1.46	1.17	1.27	1.77		1.84	7-8
B	0.00	−2.73	■ −14.04	■ 12.53	□ −8.13	0.00	0.00	−2.39	0.00	−4.76	4.76	−4.09	4.40	−2.29	2.73	0.00	2.12	4.97	■ 12.53	0.00	0.00		0.00	
A	1.52	1.27	○ 1.59	○ 1.61	1.65	● 1.20	1.28		1.40	1.47	● 1.28	1.46	1.46	1.03	○ 1.72	1.39	1.59	1.27	1.22	1.58	1.58		1.77	8-9
B	−2.39	□ −5.71	□ 6.84	■ −11.31	4.40	3.01	□ 8.53		□ −5.19	□ 7.43	□ 8.53	2.49	0.00	■ 10.62	□ 6.34	−2.60	4.57	−2.86	□ −8.97	−2.29	2.29		−2.05	
A	1.27	1.59	1.09	1.34	1.48	● 1.20	1.27		1.35	○ 1.65	1.33	1.39	1.27	1.08	1.65	1.40	1.71	1.52	◆ 0.82	1.52	1.20		1.52	9-10
B	□ −5.71	□ 6.84	■ 10.01	□ 5.44	□ −9.87	3.01	□ −5.71		■ 10.78	−4.40	0.00	2.60	2.86	□ −6.71	−4.40	□ −5.19	−2.12	2.39	0.00	2.39	−3.01		2.39	
A	1.14	○ 2.09	1.46	1.27	1.71	1.39	1.59		1.53	○ 1.65	1.33	1.41	1.21	1.46	1.27	1.39	1.71	1.40	1.08	○ 1.65	● 1.02		1.65	10-11
B	0.00	3.47	−2.49	□ 5.71	4.24	2.60	4.57		□ −7.13	2.20	−2.73	□ 7.77	□ 6.01	−2.49	□ −5.71	2.60	−2.12	□ 5.19	−3.37	0.00	□ 7.13		0.00	
A	1.40	1.80	1.46	1.11	1.39	1.59	1.52		● 1.23	1.39	1.65	1.28	1.41	1.47	1.15	● 1.08	1.66	● 1.09	○ 1.52	1.01	1.48		● 1.40	11-12
B	□ 5.19	■ −10.12	0.00	■ −13.24	−2.60	−4.57	0.00		■ 11.89	2.60	2.20	□ −8.53	□ −7.77	□ 7.43	□ −6.34	−3.37	□ −6.58	■ −10.01	2.39	0.00	□ −9.87		□ 5.19	
A	1.15	1.37	1.33	1.20	1.33	1.58	● 1.15			1.46	1.39	1.02	1.65	◆ 0.95	1.08	1.15	◆ 0.95	1.39	1.40	1.27	1.40		1.46	12-13
B	□ −6.34	■ 13.39	−2.73	0.00	0.00	−2.29	□ 9.46			−2.49	0.00	□ 7.13	0.00	0.00	□ 6.71	□ −6.34	0.00	2.60	□ −5.19	−2.86	□ 5.19		4.97	
A	0.95	1.03	1.40	1.21	● 1.08	1.52	1.39			● 1.22	1.47	1.03	1.27	◆ 0.95	1.14	1.22	1.23	1.52	0.96	1.02	○ 1.78			13-14
B	3.81	■ −10.62	□ 5.19	□ 6.01	3.37	4.76	−2.60			□ 8.97	□ 7.43	■ 10.62	0.00	0.00	−3.18	□ 8.97	■ 11.89	−2.39	□ 7.59	□ 7.13	□ −6.12			
A	1.15	◆ 0.77		◆ 0.74								◆ 0.76	○ 1.73	1.33	1.22				0.95	0.96				14-15
B	□ 6.34	□ 9.46		■ 19.98								0.00	□ 8.43	−2.73	□ 8.97				−3.81	□ 7.59				
A		1.22		1.08								0.90			● 1.02				1.09	◆ 0.70				15-16
B		□ 8.97		−3.37								□ 8.13			□ −7.13				■ 10.01	□ −5.19				
A				1.14																1.08				16-17
B				3.18																3.37				
A				1.27																				17-18
B				□ 5.71																				

【文字位置計測結果】

粘葉本

	16〈右〉		15〈左〉		14〈左〉	13〈左〉	12〈左〉	11〈左〉	11〈右〉	10〈右〉	9〈右〉	8〈右〉		7〈左〉		6〈左〉	5〈左〉	4〈左〉	3〈左〉	3〈右〉	2〈右〉	1〈右〉		詩歌番号／位置
	L2	L1	L2	L1				L2	L1			L2	L1	L2	L1				L2	L1		L2	L1	
A	1.52	1.65	○ 1.71	1.21	1.77	○ 2.10	○ 1.84	1.65	1.71	○ 1.65	1.53	1.46	○ 1.58	○ 1.77	1.58	1.52	1.27	○ 1.65	○ 1.72	1.46	1.46	1.84	1.77	1-2
B	4.76	0.00	−2.12	□ 6.01	0.00	□ −5.19	0.00	2.20	0.00	−2.20	□ −7.13	0.00	2.29	2.05	2.29	2.39	0.00	0.00	□ −6.34	0.00	2.49	0.00	2.05	
A	1.52	1.58	1.33	○ 1.71	1.65	1.66	1.65	1.77	1.52	1.46	1.27	1.58	1.47	1.58	1.46	1.46	1.39	1.58	1.27	1.47	○ 1.71	● 1.79	1.77	2-3
B	0.00	0.00	0.00	0.00	4.40	□ 8.75	4.40	0.00	2.39	−2.49	−2.86	−2.29	□ −7.43	−2.29	0.00	−2.49	−2.60	2.29	2.86	□ −7.43	0.00	□ −8.13	0.00	
A	1.22	● 1.03	1.02	1.28	○ 1.90	1.40	1.34	○ 1.78	1.58	1.29	● 1.15	1.34	1.33	1.58	1.39	1.46	1.33	1.41	1.20	1.46	1.59	2.03	○ 1.96	3-4
B	□ −8.97	■ −10.62	□ 7.13	□ 8.53	3.81	□ −5.19	□ −8.13	4.09	−2.29	■ 11.31	□ 6.34	□ −5.44	0.00	−2.29	2.60	4.97	2.73	□ −7.77	−3.01	4.97	□ −6.84	3.58	0.00	
A	1.27	1.43	1.08	1.15	1.58	● 1.27	1.41	1.58	1.59	1.39	1.46	1.52	1.06	1.33	1.52	1.39	1.46	1.53	1.52	1.46	1.53	2.15	1.84	4-5
B	□ 5.71	■ 12.80	3.37	□ −6.34	−2.29	□ −5.71	□ 7.77	−2.29	4.57	0.00	−2.49	0.00	■ 17.35	2.73	4.76	0.00	0.00	□ 7.13	−2.39	−2.49	□ 7.13	0.00	−1.97	
A	1.39	1.58	1.53	1.39	1.52	1.41	1.58	● 1.39	1.77	1.60	1.59	1.65	1.23	1.33	1.65	○ 1.65	1.77	1.47	1.20	1.40	1.65	○ 2.16	1.58	5-6
B	0.00	0.00	□ 7.13	2.60	4.76	□ 7.77	0.00	−2.60	0.00	□ −9.09	□ −6.84	2.20	■ −11.89	2.73	0.00	0.00	0.00	□ 7.43	0.00	□ 5.19	−4.40	3.37	−2.29	
A	1.20	1.15	1.21	1.46	1.39	1.33	1.71		○ 1.84	1.47	1.46	○ 1.71	1.15	1.27	1.58	1.46	1.52	1.47	1.14	1.52	○ 1.71	2.03	1.71	6-7
B	0.00	□ −6.34	□ −6.01	−4.97	2.60	2.73	2.12		−3.95	□ 7.43	2.49	2.12	□ 6.34	□ 5.71	−2.29	2.49	4.76	□ −7.43	0.00	0.00	0.00	−3.58	−4.24	
A	○ 1.65	1.27	1.33	1.41	1.27	1.33	1.46		1.71	1.52	1.40	1.65	1.41	1.46	1.40	○ 1.65	1.71	1.40	1.47	1.39	1.58		1.90	7-8
B	2.20	−2.86	2.73	□ 7.77	□ −5.71	2.73	0.00		0.00	−4.76	□ 5.19	0.00	□ 7.77	−2.49	□ 5.19	4.40	2.12	□ 5.19	□ 7.43	0.00	0.00		1.91	
A	○ 1.65	1.46	1.27	1.65	1.59	1.33	1.29		1.58	1.46	1.33	1.27	○ 1.58	1.27	1.58	1.52	1.52	● 1.21	1.27	1.27	1.39		1.77	8-9
B	−2.20	2.49	−2.86	−4.40	4.57	0.00	■ 11.31		0.00	0.00	2.73	2.86	0.00	2.86	2.29	−2.39	2.39	□ −6.01	−2.86	2.86	0.00		0.00	
A	1.58	1.46	1.59	1.21	1.39	1.46	1.52		1.33	1.52	1.33	1.33	1.39	1.01	1.58	1.39	1.58	○ 1.65	● 1.01	○ 1.58	1.28		1.58	9-10
B	2.29	2.49	□ 6.84	□ 6.01	−2.60	4.97	−2.39		0.00	2.39	−2.73	0.00	0.00	3.58	−2.29	0.00	−2.29	4.40	3.58	0.00	□ −8.53		−2.29	
A	1.46	○ 1.66	1.14	1.58	1.71	1.46	1.65		1.58	● 1.27	1.46	1.52	1.52	1.71	○ 1.71	1.39	○ 1.78	1.27	1.33	1.46	1.20		1.58	10-11
B	−4.97	□ 8.75	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		2.29	0.00	0.00	−2.39	2.39	2.12	2.12	2.60	−4.09	0.00	−2.73	−4.97	3.01		−2.29	
A	1.34	1.43	1.27	1.14	1.21	1.52	1.46		1.46	1.39	○ 1.71	1.27	1.34	1.20	1.27	● 1.15	● 1.20	1.27	1.39	1.20	1.33		● 1.46	11-12
B	□ 8.13	■ −12.80	□ −5.71	3.18	□ 6.01	4.76	4.97		2.49	0.00	−4.24	□ 5.71	□ −8.13	−3.01	0.00	□ 6.34	0.00	0.00	0.00	−3.01	−2.73		0.00	
A	1.39	1.27	1.08	1.08	1.14	1.52	● 1.15		1.22	1.46	1.46	● 1.08	1.46	0.95	1.01	1.41	1.34	1.46	1.33	1.08	1.46		1.59	12-13
B	0.00	□ 5.71	0.00	□ 6.71	3.18	−2.39	□ 6.34		□ −8.97	0.00	4.97	0.00	4.97	−3.81	−3.58	□ −7.77	□ 5.44	−4.97	2.73	□ 6.71	−2.49		□ 6.84	
A	◆ 0.89	1.27	◆ 0.95	1.02	● 1.08	● 1.27	1.27		● 1.20	● 1.27	1.40	1.27	1.20	◆ 0.89	1.15	1.46	● 1.20	1.58	● 1.01	1.33	● 1.15			13-14
B	0.00	2.86	0.00	□ 7.13	3.37	0.00	−2.86		3.01	−2.86	□ −5.19	□ 5.71	−3.01	4.09	□ 9.46	4.97	−3.01	2.29	3.58	2.73	□ 6.34			
A	1.08	1.14	1.11	◆ 0.91									1.39	1.01	1.28				● 1.01	0.96				14-15
B	□ 6.71	0.00	■ 13.24	■ 12.09									0.00	3.58	□ 8.53				0.00	□ 7.59				
A		1.14		1.01									1.27		◆ 0.95				1.29	◆ 0.95				15-16
B		0.00		0.00									□ −5.71		0.00				■ 11.31	0.00				
A				1.33									◆ 0.84							◆ 0.95				16-17
B				0.00									■ 12.99							0.00				
A																								17-18
B																								

伊予切

	30〈右〉	30〈左〉	29〈左〉		28〈左〉		27〈左〉	26〈右〉		25〈右〉		24〈右〉	23〈左〉	22〈左〉	21〈左〉		20〈左〉	19〈左〉	18〈右〉	17〈右〉		詩歌番号 / 位置
	L2	L1	L2	L1	L2	L1		L2	L1	L2	L1				L2	L1				L2	L1	
A	1.71	1.97	1.65	1.65	1.53	1.40	1.78	○ 1.65	1.39	1.46	1.14	1.65	○ 1.77	○ 1.71	○ 2.66	1.46	○ 1.84	1.58	1.52	1.33	1.65	1–2
B	−4.24	3.69	−2.20	0.00	□ −7.13	□ −5.19	−4.09	0.00	0.00	−2.49	0.00	−2.20	0.00	−4.24	−1.36	−2.49	0.00	0.00	2.39	2.73	2.20	
A	1.41	1.58	○ 1.90	1.46	1.15	1.53	● 1.27	1.14	1.22	● 1.14	1.27	1.73	1.39	1.65	1.85	1.40	1.46	○ 1.60	● 1.27	1.15	1.20	2–3
B	□ 7.77	−2.29	0.00	2.49	□ 6.34	□ −7.13	−2.86	0.00	□ −8.97	3.18	0.00	□ 8.43	2.60	2.20	□ 7.85	□ 5.19	2.49	□ −9.09	□ −5.71	□ 6.34	3.01	
A	● 1.27	1.84	1.71	● 1.39	1.20	1.22	○ 1.97	◆ 0.96	1.61	● 1.14	○ 1.90	○ 1.77	1.52	1.65	1.78	1.71	1.46	1.53	1.47	1.02	1.42	3–4
B	−2.86	0.00	−2.12	0.00	−3.01	□ 8.97	3.69	□ −7.59	■ 11.31	3.18	3.81	0.00	4.76	2.20	□ −6.12	−4.24	0.00	□ 7.13	□ 7.43	□ −7.13	■ −10.30	
A	1.39	○ 2.03	1.39	1.71	1.46	1.52	1.78	1.59	1.34	● 1.14	1.72	1.58	● 1.14	1.46	1.77	○ 1.85	1.27	1.46	1.34	1.33	○ 1.71	4–5
B	−2.60	1.79	−2.60	0.00	0.00	−2.39	4.09	−4.57	□ −5.44	0.00	□ −6.34	0.00	3.18	−2.49	2.05	□ 5.91	−2.86	−4.97	□ −5.44	−2.73	4.24	
A	2.03	1.77	1.20	1.90	○ 1.71	1.58	1.65	1.15	1.21	1.27	1.24	1.14	1.59	1.46	1.71	1.27	1.71	1.39	1.52	1.23	1.59	5–6
B	□ 5.36	2.05	0.00	1.91	2.12	2.29	2.20	□ 9.46	□ −6.01	□ −5.71	■ 14.74	3.18	−4.57	4.97	0.00	0.00	−2.12	0.00	0.00	■ 11.89	4.57	
A	1.98	1.66	● 1.14	1.77	1.33	1.59	1.59	1.14	1.41	1.34	1.20	1.14	1.66	1.52	1.84	1.58	1.40	1.40	○ 1.84	1.28	1.33	6–7
B	□ −7.35	□ −8.75	3.18	−2.05	0.00	−4.57	−4.57	3.18	□ 7.77	□ 5.44	3.01	3.18	□ 6.58	−2.39	1.97	2.29	□ 5.19	□ −5.19	0.00	□ −8.53	0.00	
A	○ 2.22	1.90	1.79	1.97	○ 1.71	1.52	1.65	1.46	1.01	1.46	1.58	1.52	1.53	1.46	● 1.40	1.58	1.34	1.42	1.65	● 1.01	1.27	7–8
B	0.00	3.81	□ 8.13	3.69	2.12	0.00	−2.20	4.97	0.00	−2.49	−2.29	0.00	□ −7.13	2.49	□ 5.19	−2.29	□ −8.13	■ 10.30	−2.20	3.58	□ −5.71	
A	1.96	1.78	1.52	○ 2.04	1.66	1.46	1.42	1.63	1.20	1.27	1.46	1.39	1.52	1.52		1.71	1.59	● 1.27	1.46	1.35	1.39	8–9
B	0.00	□ 6.12	−4.76	□ −7.13	□ 6.58	4.97	■ 10.30	■ −13.50	−3.01	2.86	−2.49	2.60	2.39	−4.76		0.00	4.57	□ 5.71	0.00	■ −10.78	2.60	
A		1.78	1.59	1.96	1.48	1.52	1.33	1.40	1.84	1.20	1.33	1.65	1.27	● 1.27		1.65	1.58	1.41	1.52	1.27	1.34	9–10
B		−4.09	4.57	0.00	□ −9.87	2.39	0.00	□ 5.19	3.95	0.00	2.73	−4.40	□ −5.71	2.86		0.00	−2.29	□ −7.77	0.00	0.00	□ −5.44	
A		● 1.39	1.59	1.65	1.34	1.52	1.65	1.58	○ 2.34	1.33	1.15	1.59	1.34	1.52		1.33	1.46	1.48	1.48	1.46	● 1.06	10–11
B		−2.60	−4.57	2.20	□ 5.44	−4.76	2.20	0.00	−1.55	2.73	□ 6.34	□ 6.84	□ 8.13	2.39		2.73	4.97	□ 9.87	□ 9.87	4.97	■ 17.35	
A		1.46	1.48	1.71	1.33	1.65	1.46	1.21	1.27	○ 1.52	1.15	1.68	1.46	1.46		● 1.20	● 1.03	○ 1.60	1.66	1.52	1.58	11–12
B		−2.49	□ −9.87	−2.12	−2.73	4.40	−4.97	□ 6.01	−2.86	0.00	□ 6.34	■ −10.89	−2.49	0.00		0.00	■ −10.62	□ −9.09	□ −6.58	4.76	−2.29	
A		1.46	1.52	1.42	● 1.08	○ 1.71	1.47	1.46	1.52	1.20	1.30	1.29	1.46	1.52		1.34	1.39	1.52	1.65	1.21	1.46	12–13
B		2.49	0.00	■ 10.30	0.00	4.24	□ −7.43	0.00	−4.76	3.01	■ −14.04	■ 11.31	−4.97	−2.39		□ 5.44	0.00	0.00	0.00	□ 6.01	2.49	
A					1.34	1.27	1.54	1.52	1.29	1.39	◆ 0.74	◆ 0.89	1.34	1.34		1.66	1.27	1.34	1.66	1.41	1.46	13–14
B					□ −5.44	0.00	□ 9.46	−4.76	■ 11.31	0.00	■ 30.96	−4.09	□ −5.44	□ 5.44		□ 6.58	2.86	□ 5.44	□ 6.58	□ −7.77	4.97	
A					1.39	● 1.03			1.24	1.33	1.03									○ 1.53	1.20	14–15
B					2.60	■ −10.62			■ −14.74	0.00	■ −10.62									□ 7.13	0.00	
A						1.12			◆ 0.98		1.08										1.20	15–16
B						■ 16.39			■ 14.93		−3.37										0.00	
A											1.37											16–17
B											■ 13.39											
A																						17–18
B																						

【文字位置計測結果】

粘葉本

	30〈右〉		29〈左〉		28〈左〉		27〈左〉	26〈右〉		25〈右〉		24〈右〉	23〈左〉	22〈左〉	21〈左〉		20〈左〉	19〈左〉	18〈右〉	17〈右〉		詩歌番号／位置
	L2	L1	L2	L1	L2	L1		L2	L1	L2	L1				L2	L1				L2	L1	
A	1.79	1.71	1.71	1.65	1.34	1.52	1.58	1.52	1.46	1.27	1.15	1.46	1.58	○ 1.71	○ 1.84	1.52	1.46	○ 1.65	1.46	1.58	○ 1.78	1–2
B	□ 8.13	2.12	0.00	0.00	□ −5.44	0.00	2.29	−4.76	−2.49	−2.86	□ −6.34	2.49	2.29	2.12	3.95	−2.39	2.49	−2.20	−2.49	−2.29	4.09	
A	1.78	● 1.52	1.46	1.33	1.08	1.40	1.33	◆ 0.95	1.41	1.34	1.52	1.65	1.65	1.52	● 1.65	1.40	1.46	○ 1.65	1.46	1.20	1.46	2–3
B	−4.09	0.00	−4.97	0.00	3.37	□ −5.19	0.00	−3.81	□ −7.77	□ −5.44	2.39	4.40	2.20	−2.39	4.40	□ 5.19	2.49	−4.40	0.00	−3.01	−2.49	
A	1.58	1.90	● 1.27	1.33	1.08	1.08	○ 1.71	1.14	1.65	1.20	○ 1.90	1.71	1.65	1.53	1.66	1.66	1.33	○ 1.65	1.52	1.34	1.46	3–4
B	2.29	−1.91	2.86	2.73	□ 6.71	3.37	4.24	0.00	2.20	0.00	−1.91	−2.12	4.40	□ 7.13	□ −6.58	□ −6.58	−2.73	2.20	2.39	□ 8.13	−4.97	
A	● 1.39	○ 2.34	1.40	1.39	1.20	1.58	○ 1.71	1.47	1.58	● 1.14	1.46	1.58	1.39	1.46	1.71	1.65	1.52	1.52	● 1.33	1.52	1.60	4–5
B	−2.60	1.55	□ −5.19	−2.60	−3.01	2.29	2.12	□ −7.43	−2.29	0.00	−2.49	0.00	0.00	−4.97	2.12	2.20	0.00	4.76	2.73	−4.76	□ 9.09	
A	1.46	2.09	○ 1.78	1.65	1.46	1.33	1.52	1.37	1.20	1.33	1.39	1.52	1.46	1.46	1.77	● 1.27	○ 1.96	1.33	1.46	1.23	1.58	5–6
B	−2.49	1.74	4.09	4.40	0.00	0.00	0.00	■ 13.39	0.00	−2.73	2.60	0.00	0.00	4.97	2.05	2.86	−1.85	2.73	−4.97	■ 11.89	0.00	
A	1.96	2.09	1.71	1.39	1.52	1.52	1.40	1.34	1.46	1.21	1.27	1.27	1.71	1.59	○ 1.84	1.40	1.34	1.46	○ 1.77	1.23	1.20	6–7
B	1.85	−3.47	−2.12	−2.60	0.00	0.00	□ −5.19	□ −5.44	4.97	□ −6.01	2.86	0.00	2.12	−4.57	1.97	□ 5.19	□ 5.44	0.00	0.00	■ −11.89	−3.01	
A	1.90	2.10	1.77	1.47	○ 1.71	○ 1.65	1.53	1.58	1.20	1.52	1.35	1.71	○ 1.78	1.59	1.71	1.65	1.52	1.39	1.59	1.15	1.27	7–8
B	−1.91	□ 5.19	2.05	□ 7.43	4.24	2.20	□ 7.13	−2.29	0.00	−2.39	■ −10.78	−4.24	−4.09	4.57	4.24	2.20	−4.76	−2.60	−4.57	□ 9.46	−2.86	
A	○ 1.97	2.09	1.65	○ 1.71	1.52	1.52	1.58	1.52	1.09	○ 1.59	1.27	1.39	1.40	1.52		1.58	1.78	1.53	1.71	○ 1.71	1.33	8–9
B	□ 5.53	0.00	−2.20	−2.12	0.00	−2.39	0.00	4.76	■ −10.01	4.57	−2.86	2.60	□ 5.19	0.00		2.29	4.09	□ 7.13	0.00	−4.24	2.73	
A	1.78	2.15	1.65	1.52	1.08	○ 1.65	1.46	1.14	○ 1.71	1.34	1.40	1.52	● 1.27	● 1.27		1.71	1.71	1.52	1.65	1.46	1.20	9–10
B	−4.09	−1.68	−2.20	0.00	3.37	0.00	2.49	0.00	0.00	□ −5.44	□ 5.19	0.00	0.00	0.00		4.24	2.12	−4.76	−2.20	0.00	0.00	
A		1.65	1.47	1.52	1.39	1.27	● 1.27	1.33	1.52	1.46	1.20	1.77	1.52	1.52		○ 1.78	1.53	○ 1.65	1.59	1.35	1.59	10–11
B		0.00	□ 7.43	0.00	0.00	□ 5.71	0.00	2.73	0.00	2.49	0.00	0.00	−2.39	0.00		−4.09	□ 7.13	4.40	4.57	■ 10.78	4.57	
A		1.71		1.39	1.33	1.59	1.33	1.22	1.27	1.42	1.53	○ 1.79	1.46	1.58		1.46	1.15	1.39	● 1.33	1.27	1.33	11–12
B		−2.12		0.00	2.73	□ 6.84	2.73	□ −8.97	2.86	■ −10.30	□ 7.13	□ −8.13	4.97	0.00		0.00	□ −6.34	2.60	−2.73	−2.86	2.73	
A				1.34	1.08	1.59	1.39	1.21	● 1.02	1.20	1.11	1.27	1.54	1.46		1.33	● 1.11	1.52	1.46	1.20	1.52	12–13
B				□ 8.13	3.37	4.57	2.60	□ 6.01	□ −7.13	3.01	■ −13.24	2.86	□ −9.46	0.00		2.73	■ 13.24	0.00	4.97	0.00	−2.39	
A				● 1.21	1.28	1.01	1.52	1.42	1.53	1.58	◆ 0.74	◆ 0.95	1.33	1.39		1.74	1.33	● 1.27	1.52	1.21	1.21	13–14
B				□ −6.01	□ −8.53	0.00	−4.76	■ −10.30	□ 7.13	2.29	■ 19.98	3.81	0.00	2.60		■ 10.49	0.00	0.00	0.00	□ −6.01	□ 6.01	
A				1.27	● 1.01	1.03		○ 1.59	1.27	1.46	0.96									● 1.08	1.01	14–15
B				2.86	3.58	■ −10.62		□ −6.84	0.00	0.00	□ −7.59									□ 6.71	3.58	
A						◆ 0.76			1.20		1.01										◆ 0.89	15–16
B						■ 24.44			3.01		−3.58										0.00	
A											1.41											16–17
B											□ 7.77											
A																						17–18
B																						

はじめに、【表】の各欄の見方、数字・数値の意味する事項等について説明する。

①両本中、一首が二行に亘り書写されている場合は【表】においても二行とし、改行の位置も両本と同様に表した。

②上段に示した各欄の番号は当該行の詩歌番号である。漢詩については和歌と区別するため当該欄を太枠で囲った。各詩歌番号の右の括弧内の左右の区別については、両本における見開きの面（両ページ）のうち、右・左のいずれかを意味するものである。

③右の列の各欄の数字は当該行における当該箇所を文字の位置によって示したものである。たとえば、最上段の「1-2」は、当該行における一字目と二字目の中心点間の距離（単位、㎜）・角度（単位、度）を表す。

④各欄は二段（上・下段）に分け、「距離」を上段、「角度」を下段に示した。適宜、前者の項目を「A」、後者の項目を「B」と称す。角度については上の文字の真下に次の文字が位置する場合は「0.00」と表示される。また、上の文字（の中心点）を基点とし、下の文字がそれより右に位置する場合は「＋」、左に位置する場合は「－」で表示される。以下、前者を「プラス」、後者を「マイナス」と表記することもある。

前掲[5]の詩句三行目（行頭）の「池」・「凍」を例に取り、【表】中、数値の見方等について説明する。

【表】の上欄「2」（詩番号）、「1-2」（位置）の結ばれた欄が該当する。「池」と「凍」の中心点間の距離は「1.46」、角度は「－2.49」である。両字の中心点間の距離は1.46㎜であり、角度は「池」を基点とし、左下方2.49度の位置に「凍」が存することを意味するものである。

矩形・線分表示による視覚化、中心点間の距離・角度の定量化により、その両面からの考察が可能となった。ただし、両本には続け字（字間を離さず、続けて書す場合）も混在する。また、剥落等については痕跡から判断するしかなく、稿者の感覚に頼らざるを得ない点も実際にはある。その意味では精緻さに欠けるという前提の下、本データを活用する。そのような限界はあるものの、目視のみでは気付き得ない面が明らかとなり、大凡の特徴等は本データにより掴めるものと思われる。

【表】によると、両本間には主に六項目の相違が認められた。(1)・(2)・(3)・(4)・(5)・(6)とし、以下、その点について指摘する。

まず、【表】中、距離（「A」）の項目について述べる。

各行中、最も低い数値には●印を付し、最も高い数値には○印を付した。ただし、1.0未満については◆印を付した。

(1) 全四四行中、両本間における同詩歌句を比較（二行に亘る場合は一行目、または二行目についても区別）し、●・○・◆印の数を数えてみると（当該行中、同数値が複数存する場合、その数までは考慮しない）、●・◆印において伊予切の方が粘葉本より数値が高いのは一一か所である（両本、同数値：八か所）。一方、○印において伊予切の方が粘葉本より数値が低いのは一五か所である（両本、同数値：五か所）。

なお、●印と◆印とを合わせると伊予切五二か所、粘葉本五一か所であり、○印は伊予切四九か所、粘葉本五五か所である。

(2) 粘葉本では◆印は一三か所であるが、そのうちの一か所（26〈二行目〉）を除く全てが行末付近に存するものである。26（二行目）の方は踊り字であるため、その数値が低いことは自然なことである。一方、伊予切では行末付近以外にも◆印はいくつか存する。

(3) 一行中、それぞれ連なって位置する各三文字の中心点間の距離の差に注目した[11]。

その差が0.3以上であるのは伊予切では一四一か所、粘葉本では九一か所である。その差が0.3未満のものしか存しない行については伊予切の方が粘葉本より少なく（伊予切三行〈三首〉・粘葉本九行〈七首〉）、

それらはいずれも漢詩であることが確認された。

また、その差が0.4以上であるのは、伊予切では五八か所、粘葉本では三八か所であった。伊予切に見られるそれらの多くは●・◆・○印、及びその付近に存することも知られた。[13]

なお、その差について、数値の高い順に、伊予切1.07・0.81・0.76、粘葉本0.70・0.62・0.58が挙げられる。

(4) 試みに、プラス、またはマイナス10以上の数値には■印を付し、5以上（10未満）の数値には□印を付した。

【表】中、角度（「B」）の項目については以下の通りである。

■印は伊予切では四二か所、粘葉本では二五か所が確認された。

□印についても伊予切では一五八か所、粘葉本では一二〇か所であり、■・□印ともに伊予切の方が多いことが知られた。

(5) 【表】中、ひとつながりの複数の文字のうち、プラスとマイナスとがそれぞれ二回以上、交互に表れる箇所の数字の背景には着色を施した。伊予切では二六か所、粘葉本では一九か所であり、伊予切の方に多く見受けられた。

(6) プラス、乃至、マイナスがそれぞれ連続する箇所にも注目した（当該箇所中、0.00が含まれるものも連続する箇所と見做した）。

プラスの連続については【表】の各欄の数字の左側に、マイナスの連続については各欄の数字の右側（右側の欄との境界線上）に線を引き、その範囲を線の位置で示した。

それによると、マイナスが連続する最長は伊予切では四文字間、粘葉本では六文字間のものであることが判った。二文字間の連続のものも含め、マイナスの当該箇所数を数えてみると、見開きの右面（右ページ）に見られるのは伊予切では八首（一四か所）のみであるのに対して粘葉本では一三首（二五か所）が確認された。

一方、プラスについては伊予切では六文字間以上の連続が二首（二か所）であったが、粘葉本では一〇首（一一か所）であり、そのうちの九首（一〇か所）が左面（左ページ）に当たるものであった。

以上の考察結果(1)・(2)・(3)を纏めると以下の通りである。

(1) 各行中、上下に位置する各二文字の中心点間の距離が「最長である箇所」、「最短である箇所」にそれぞれ注目した。両本間における同詩歌句（同行）中、粘葉本より伊予切の方が、最長である箇所はより長く、最短である箇所はより短い傾向にある。

(2) 粘葉本では、上下に位置する各二文字の中心点間の距離が短いものが行末付近に多く存する。

(3) 各行中、それぞれ連なって位置する各三文字の中心点間の距離の差が粘葉本より伊予切の方が大きいものが目立っていた。伊予切における各三文字の中心点間の距離の差が大きいのは、各二文字の中心点間の距離が一行中、最長である箇所、最短である箇所、及びその付近に多く見られた。

ここから、同行中、粘葉本よりも伊予切の方が各二文字の中心点間の距離に差があり、また、その差の大きいものが近いところに位置していることが多いという点を指摘し得る。

また、前述した考察結果(4)・(5)・(6)については以下の通りである。

一行中、各上下に位置する文字のうち、上に位置する文字の中心点を基点とし、そこから真下へ向かう直線を引くならば、以下、続く文字の中心点が大凡その直線上に位置するものであるのか、または、それより右下方、左下方に位置するものであるのかという点を設定し、各二点間の角度について比較検討を行った。その結果が次の三項目である。

(4) 伊予切の方が粘葉本より角度大のケースが多い。

(5) 一行中、上下に位置するひとつながりの複数の文字が交互に右下方、

左下方に複数回に亘って揺れる頻度も伊予切の方が高い。

(6) 各行における行頭の文字と行末の文字の中心点を仮に結んでみると、粘葉本ではその線は傾斜する傾向にある。粘葉本の紙面の上から下へ文字を書き進めていく上で生じる行の流れとしては、微妙な位置関係ではあるものの、見開きの右面（右ページ）の行は左下方へ向かい、左面（左ページ）の行は右下方へ向かう傾向にある。見開きの面のその姿を何かに譬えるならば扇形が連想されるが、伊予切にその特徴は見当たらない。

三

仮に、全てが活字であるならば、前章中、指摘した事項の要因は配字の問題に止まるといえる。しかし、実際は手書きのものである。既に、拙稿[16]において述べた通り、伊予切の文字の矩形は多様である。伊予切では漢字の最終画・仮名の最終部分[17]が長目であることが多く、また、縦長の字形も多いものといえる。それが前述した両本間に見られる相違に深く関わるものであるということは言うまでもない。

その姿容が美に根差したものであり、かつ、両本が技能的に同等のものであるならば、両本が同筆である可能性は当然のことながらあり得る。しかし、伊予切の書はその与件を満たすものではないとはいえまいか。

その観点に立ち、伊予切の「最終画・最終部分が長目」である文字、「縦長の字形」を有する文字を中心に、適宜、前章【表】における考察結果も踏まえ、両本間に見られる相違箇所の実態について述べる。事例として[7]・[8]を挙げる。

まず、伊予切に見られる「最終画・最終部分が長目である」事例について述べる。11「岸」（二・四字目）・「柳」（六字目）が挙げられる。伊予切の当該箇所（縦画）は長い。11「岸」（四字目）の当該箇所（縦画）は傾き、強い調子である。それに対して、同行中、11「之」は小振りに書され、異質的である。11「遅」・「速」についても、それぞれが縦に伸びたことにより下に続く四文字が詰まったかのごとく感じられ、11「之」・「遅速」は「岸」・「柳」を活かし得ていないものと見られる。また、11「岸」（二・四字目）・「柳」の右の行（10の上部）では文字が窮屈に並び、当該行とそぐわないのではなかろうか。

一方、粘葉本の11「岸」（二・四字目）・「柳」の下に位置する「西」・「之」・「遅速」では幅広の字形が採用され、また、右の行（10の上部）とのバランスも保たれ、品よく収まり、行としての安定感もある。

粘葉本の11「岸」（二・四字目）・「柳」・「之」・「遅速」の最終画の線質には深みが感じられるが、伊予切の当該箇所は平板であり、また、どことなく落ち着かなさを覚えるものである。

その他、9「低」・12「脱」・14「変」等の最終画、15「ひ」（八字目）・「那」の最終部分等が伊予切では長目に書されている点も注目される。

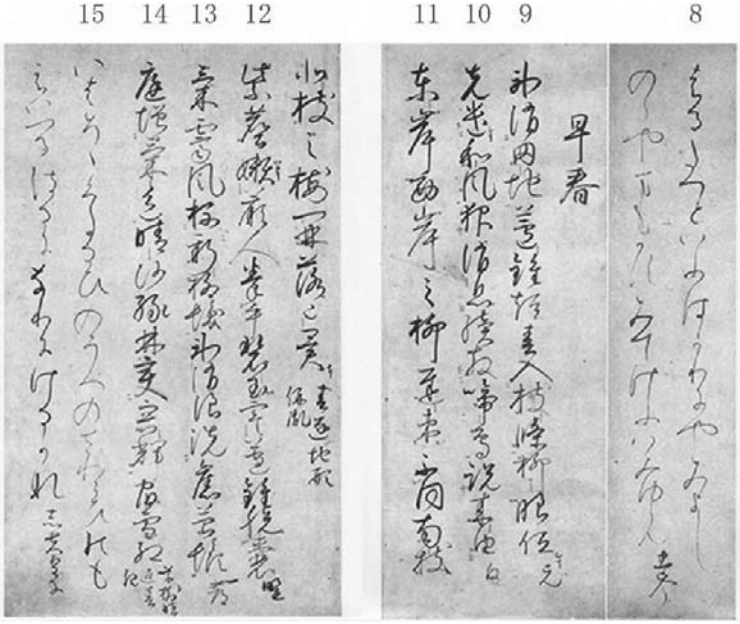
【表】（「B」）に拠ると、伊予切では、いずれもその上に位置する文字の真下に当該文字はなく、右下方にずれていることが確認される（「低」7.43・「脱」9.46・「変」4.40・「ひ」12.53・「那」5.19）。

当該文字の最終画等におけるそれぞれの線質にも粘葉本のごとき緊張感はなく、また、文字の重心が右へずれたことにより、行も揺らぎ、まとまりを欠くものとなった。

当該文字のうち、粘葉本12「脱」・14「変」の最終画も長目に書されている。しかし、それらの画は余白を活かし、効果的に働いている。

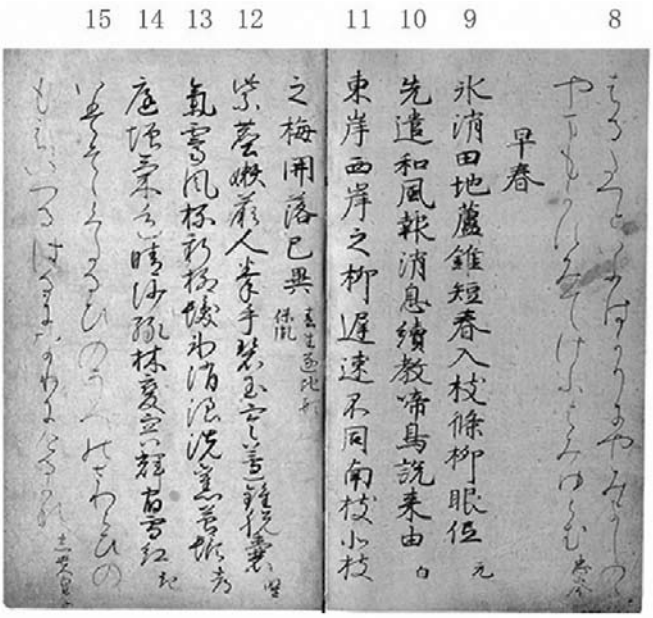
【表】（「B」）に拠ると、粘葉本においてもその上に位置する文字の真下に当該文字が存しないことが確認される。9「低」では左下方（−5.19）、12「脱」・14「変」・15「ひ」（八字目）・15「那」では右下方（「脱」6.34・「変」

■伊予切



［7］

■粘葉本



［8］

4.57・「ひ」7.77・「那」13.24）に位置する。当該文字の上に位置する文字に対して、（見開き）右の面（右ページ）の9「低」は左下方に、左の面（左ページ）の文字は右下方に配されている点に関しては後述する通り、粘葉本の独自性の一端と解し得る。

次に、伊予切に見られる「縦長の字形」を有する文字に焦点を当てて考察した結果について述べる。

前掲［7］の13では一字目「気」・二字目「霽」・三字目「風」が挙げられるが、【表】（「A」）に拠ると、中心点間における「気」と「霽」の距離は伊予切では2.22、粘葉本では2.10であり、「霽」と「風」の距離は伊予切では1.53、粘葉本では1.66である。その崩し方の場合、本来、縦長の字形ではあるものの、伊予切ではいずれも縦に伸びたという感は否めない。僅かな違いではあるが、少し抑えられるべきではなかったか。「霽」と「風」と

の間が詰まったこともあり、「気」と「霽」との間は実際より広く感じられる。伊予切では、同行の中程に位置する「柳」・「髪」・「氷」・「消」・「浪」等のそれぞれの字間、及びそれらの各文字の縦の長さを詰めざるを得なくなったものと見られる。

当該箇所（13「気霽風」）に隣接する左右の行の三文字（12「紫塵嬾」・14「庭増気」）とのそれぞれの関係も伊予切ではバランスを失したかと思われる。

【表】（「B」）から、伊予切14の行の揺れが顕著であることが窺われるが、それは13の不安定感が招いた結果とも取れる。

また、伊予切では12「人」（13「柳」の右上に位置する）が13に接近しており、さらに13の中程「柳髪氷消浪」と12（右の行）との間（行間）が狭いことに比して左方の14と15との間は広い。その辺りについても統一感に欠けると言わざるを得ない。

如上のような要素は全巻を通して粘葉本には見当たらなかった。

粘葉本では、当該箇所13「気」は14「気」と崩し方を変えながらも紙面中、安定感をもって溶け込んでおり、また、「霽」・「風」とのバランスを保ちながらそれらに隣接する12（右の行）、14（左の行）との調和も図られたものと見られる。

13の中程「柳」・「髪」・「氷」・「消」・「浪」の中心点間の距離について、【表】（「A」）に拠ると、粘葉本では、1.33・1.33・1.33・1.33・1.46であり、伊予切の場合（1.33・1.20・1.20・1.20）と然程変わらない。しかし、粘葉本では各文字の内部の空間が広く、また、線の太い箇所（「髪」の左側の部分、「消」・「洗」の右側の部分）からも豊潤さが感受された。それにより「浪」等の細く書された文字は際立つものとなった。

また、粘葉本のその下に位置する「洗」は紙面中、右へ寄せ過ぎず、適度な位置に配されている。左下方へ向けて書された八画目（左払い）は強く、当該行の右方への流れを抑えた。当該文字の力強く書されたその書き振りは同行中、一字目「気」・二字目「霽」とも照応し、当該行・紙面における「洗」の要としての役目が果たされたかのごとくである。

最後に粘葉本に見られる独特な表現かと思われる点について論じる。

既述した通り、粘葉本の行末には二文字の中心点間の距離が短い箇所がある。【表】（「A」）に拠ると、12～15の行末（四文字）の距離は一か所（15の末尾）のみ、伊予切の方が短いものであり、また、うち、二か所（12・14）では両本は同数値である。その三か所の他は粘葉本の方が短いことが窺われる。

粘葉本の行末では、各文字が一纏まりとなり、独特の存在感を醸し出す。それらは表現の一つと解され、前述した伊予切の字間の狭さ等とは質的に異なるものと考えられる。以下、述べる粘葉本の構成はそのことと密接な関係にあると考えられる。

前掲[8]に拠ると、紙面の上方から下方へ文字が書き進められていく上で生じる行の流れとしては、粘葉本では9～11（一行目）の行は左下方へ向かい、一方、11（二行目）～15は右下方へ向かう傾向にある。粘葉本にはこのように見開き一面があたかも扇形のごとく構成されている箇所が存する。当該面（見開き）全体が引き締められ、微妙な行の傾き、うねりによって行と行とが響き合う。その場合、前述したごとく、各行末の文字を小振りに纏めることはその効果を高めるものと思われる。限られた紙面に動感を表現し得た一つの見事な手法と見てよいのではないかと考える。

伊予切では漢字の最終画・仮名の最終部分が長目の文字が多く見受けられ、また、縦長の字形も散見される。長目の縦画が傾けられることもあり、動きも大きく、一見、「瀟洒で自由」[18]にも映る。しかし、強調された画・部分の線質が粘葉本に比して平板であることに加え、当該行・当該面においてそれらが活かされず、有機的に働いていない側面があり、その結果、

行も揺らぎ、当該行と隣接する左右の行との不調和、当該文字と上下に位置する文字との不調和が生じた感は否めない。その要素は粘葉本には見当たらなかった。

粘葉本の矩形は伊予切のごとく多様ではなかったが、粘葉本では各文字の内部の空間が広く、深みのある線質による豊潤さ、線の太細等による変化が看取された。一行中、要となる文字と周辺に位置する字形との照応、その取り合わせ、兼ね合い等が相俟って、過不足無く、伸びやかに表現されているといえよう。

また、粘葉本では行末付近の字間を詰め、行のうねりを作り、紙面上、文字全体で動感を表現したものと思われる。

四

本稿では文字の「中心点」・「矩形」について定義し、その基準に基づき調査を行った。その結果、両本間では、同行中、文字の中心点間の距離の差が伊予切の方が粘葉本より大きい傾向にあり、また、一行中、上下に位置する文字の並びにおいても相違していることが確認された。粘葉本より伊予切の方が、上下に位置する文字の中心点が左右に揺れる頻度が高く、また、その角度大の事例が散見された。

次に、伊予切の方が最終画・最終部分が長目の文字、及び縦長の字形が多いということがその要因に挙げられるという推測の下、両本間に見られる相違の実態について美的見地から考察を行った。伊予切の書は、下方への動き、右方への動き等が大きく、結果的に同行中のその他の文字が小振りとなり、行間も詰められた。しかしながら、それらの要素が調和しておらず、むしろ不安定に感じられる箇所も存していた。

一方、粘葉本の矩形には伊予切のごとき多様性は見られなかった。しかし、その線質（字形も含む）により、変化のみならず統一感も図られ、伸びやかさが際立っていた。伊予切の行の揺らぎ、傾斜等からは美的意図は感じられなかったが、粘葉本の見開きの構成には独自の美しさが看取された。

本稿ではその姿（紙面の上から下へ文字を書き進めていく上で生じる行の流れ）を扇形に譬えた。行末付近の字間を詰め、複数の文字を纏め、行頭付近を大きく見せることにより、整然とした中にも空間的広がりと躍動感を与えるとともに、余白の美をも創出し得たものと思われる。

いくつかの文字の姿・形が連なり、各行は形作られている。各行の集合体によって当該面が構成されている本作品において、各線質によって成り立つ書の一文字一文字、各文字の位置関係による行の揺れ・傾き具合、構成面は一体のものであり、それらを切り放して考えることはできない。

書写者本人にとっても無意識的に滲み出る類のものもあり、その境界には曖昧なところも実際にはある。しかし、両本は書写者本来の文字造形上の美的感覚によって作り上げられたものである。

粘葉本においては、書写者の志向する一行の姿、各行の集合体の姿、紙面構成が具現化されるための字形（線質も含む）が書写者の主体性によって選択されたものと考えられる。

それに対して、伊予切では、書写者の意識・関心は字形のみに向けられた感が否めない。中には騒がしく感じられる箇所も存しており、粘葉本のごとき動感、統一感は伊予切には見られず、粘葉本に比して未熟と言わざるを得ない点が確認された。

粘葉本の書の一筆一筆には気品があり、伸びやかさがある。伊予切に存する不安定さはなく、迷いのない確信に満ちたものが感じられた。

同一人物による表現の違いと取るには無理があり、両本は別人の手になる可能性の方が高いものと考えられる。

通説では、近衛本・法輪寺切の書も「粘葉本・伊予切と同筆、もしくは

同書風」[19]という位置付けがなされており、その四本の書の関係について曖昧模糊たるものがある。四本は当代を代表する名筆とされている。書の神髄を探る上でも、また、『和漢朗詠集』の本文を研究する上でも四本間に存する違いを追求する試みは今後取り組むべき重要な課題である。本稿において述べた私案をもとに引き続き調査・研究を行う所存である。

注

（1）小松茂美氏編『二玄社版　日本書道辞典』［昭和62年　二玄社］P33

（2）尾上柴舟・大石隆子氏解説『伝藤原行成筆御物倭漢朗詠集一』［昭和43年　雄山閣］P2

（3）春名好重氏編著『古筆大辞典』［昭和54年　淡交社］P814

（4）安東聖空氏著『かな古筆美の研究・御物粘葉本和漢朗詠篇』［昭和60年　同朋舎］P14・18

（5）『飯島春敬全集』第五巻［昭和61年　書藝文化新社］P248

（6）飯島春敬氏解説・釈文『平安朝かな名蹟選集　第55巻』［平成2年　書藝文化新社］解説の項。

（7）古谷稔・島谷弘幸両氏も両本は「同筆」であるとされた（『日本名筆選8』［平成23年　二玄社］P117・『日本名筆選26』［平成6年　二玄社］P103）。

（8）拙稿「『和漢朗詠集』伊予切〈第一種〉の書―粘葉本との関係―」『語文』（日大国文学会）第一四九輯［平成26年6月］

（9）漢字を構成する各線で、一筆で書かれるもの（藤原宏氏ほか編『書写書道用語辞典』［平成2年　第一法規］P34）。

（10）書の線のもつ性質で、書線の様相とその内容をいう（前掲〈注9〉に同。P189）。

（11）伊予切は、三者の手になるとされている（便宜上、第一種・二種・三種と呼称されている）が、稿者は三名以上の書写者の存在の可能性もあり得ると考えている。本稿ではその点については踏み込まず、従来の説に従うものとする。

（12）古谷稔氏解説『日本名筆選8』［平成23年　二玄社］・小松茂美氏監修・名児耶明氏解説『日本名跡叢刊55・56』［昭和56年　二玄社］

（13）前掲（注4）に同。P18

（14）前掲（注7）掲載の図版を目視により確認した結果、本項の基準を「0.3」・「0.4」とすることが適切であると判断した。

（15）そこに該当しないのは伊予切では漢詩二か所・和歌六か所、粘葉本では漢詩四か所・和歌一〇か所。

（16）前掲（注8）に同。

（17）画は漢字にのみ用いられる用語であるため、仮名のことを指す場合は「部分」と称した。

（18）前掲（注6）に同。P64

（19）小松茂美氏監修・名児耶明氏解説『日本名跡叢刊55』［昭和56年　二玄社］の解説（P124）等。

【追記】

本稿中、使用した「文字位置計測ソフトVer1.1」は根本訓央氏（茨城県警察本部刑事部科学捜査研究所）によって制作された。稿者が同氏に依頼し、稿者の発案のもとに開発して頂いたものである。同氏、並びに同研究所には謹んで感謝申し上げます。

本稿に載せた図版は二玄社刊『日本名跡叢刊』・『日本名筆選』から引用したものである。転載のご許可を頂き、御礼申し上げます。

本研究はＪＳＰＳ科研費の助成を受けたものです（『和漢朗詠集』諸本の集成と研究」・15K02214・基盤研究（C））。